



助成金申請は パートナーづくり

5月7日、助成金について学ぶ学習会が開かれました。講師は長野県NPOセンター事務局長の山室秀俊さんです。

今回の助成金の学習会に参加して、申請方法や助成金とは何かについて学習でき、申請への不安が拭えました。

私たちはシングルマザーとその支援者で「シングルマザーの会」を立ち上げました。そのパンフレットを作成するため、助成金の申請を考えています。

シングルマザーが利用できる制度はいろいろありますが、当事者は日々の生活に追われて情報が得られません。

利用できる制度や民間グループの取り組みを当事者の目線でまとめたパンフレットを作成し、配布する活動をしたと思っています。

パンフレットを届けることで、当事者とその家庭が情報を得るきっかけになり、また当事者同士つながりを作ること、「励まし合う仲間づくり」を広げていければと思います。

勉強会では、講師の山室さんから「助成金を交付する団体は事業のパートナーである」とお聞きしました。

単に助成金を出す、受け取るというだけの関係ではありません。助成金を申請すること自体が、これから行おうとしている「活動を理解」してもらい、支援してくれる「仲間を増やす」ことにつながることに気づきやりがいを感じました。

公開審査会にむけてグループ内で相談し、楽しんで取り組みたいです。(宮崎ようこ)



「助成する側は活動者の“思い”に共感して支援を考える。しっかり伝えて」と山室さん

